

保護者各位

熊本県卓球協会
会長 松本 秀幸

熊日学童オリンピック卓球競技大会に関するお詫び

平素より、当協会の事業運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今回の標記大会におきまして、選手及び監督の皆様にご不快な思いをおかけし、誠に申し訳ございませんでした。

今回の大会では、選手が3名揃わないチームの申込み、個人、団体ともにABCの基準に合致していない選手申込み等々、多々課題点が発生しました。

この熊日学童オリンピック卓球競技の目的は、「卓球競技の普及拡大を目指す。」と定義しております。この大会は48回を数えることができていますが、開催当初は小学生選手が少なく、午前中試合、午後から講習会という日程で運営しておりました時もございます。このような経過をたどってきた結果、クラス分けが必要になるほどの参加数となってまいりました。参加していただいた選手や監督さんの努力の賜物と感謝しております。

熊日学童オリンピック卓球競技大会の大会実施要項では

(4)団体戦

- ①個人戦で A クラスに 2 名以上出場している場合は A クラス
 - ②A・Bで出場している選手の合計が2名以上いる場合はBクラス以上
 - ③A・Bで出場している選手の合計が1名以上いる場合はCクラス以上
- としております。

ご指摘いただいた団体 C クラスチームに個人戦 B クラスの選手が複数登録されていた件につきましては、事務局・担当部会のチェック漏れでございます。誠に申し訳ございませんでした。

今後の熊日学童オリンピック競技大会の要項について、9月26日に担当部会を開いて協議しました。クラブチームと学校部活動で練習されておられる子供さんと一緒のグループではいけないことの確認で、Cクラスを設置したことの振り返り等々、「普及を目的としていること」を再確認し新たな要項案をまとめました。10月10日の熊本県小学生学年別卓球大会時に、各監督さんに提示しご意見をいただき、次年度の大会に向けて準備を進めていく所存です。

今後とも、卓球競技の普及にご協力のほど、よろしくお願いたします。